

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29407	乳児保育Ⅱ	中西 綾子	2年次・後期	演習・1単位	保育士必修

授業の概要 / Course Outline
3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた養護及び教育の基本的な考え方を理解した上で、生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的に構想する。また、乳児保育における保育計画の基礎を理解し、作成できるようにする。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
1. 3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえた援助について理解する。	A-② D-①
2. 子どもの一日の生活の流れと保育環境について具体的に理解する。	A-② B-②
3. 乳児保育における配慮の実際について、具体的に理解する。	C-① D-①
4. 乳児保育における計画の重要性とその作成について理解する。	A-② B-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	0%	
レポート試験 Report Examination	20%	講義内容の理解に関するレポート作成
実技試験 Practical skill test	60%	課題(乳児のための環境づくり計画書)提出
平常点評価 Continuous Assessment	20%	授業への取り組み(コメントペーパー等)

教科書 / Textbooks
使用しない。毎授業時に資料を配布する。

参考書 / Reference Books
志村聡子著『初めて学ぶ乳児保育』第2版, 同文書院, 2019年 汐見稔幸・小西行郎・榎原洋一(編集)『乳児保育の基本』, フレーベル館, 2007年

予習・復習 / Preparation・Review
予習・復習: 授業時に配布した資料を読み理解を深めること。(各90分程度)

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
毎回の授業冒頭に、前回の授業課題のフィードバックを行う。

特記事項 / Special Note
乳児保育に広い視野がもてる様、様々な文化や海外の乳児保育事情にも触れる。 【実務家教員】保育士や欧米でのナニーとしての経験をもとに、乳児の生活や遊びと保育の方法、環境について構想する保育計画の基礎を理解し、作成できるよう指導する。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	オリエンテーション・乳児保育の重要性
	授業の進め方の説明と、乳児保育の重要性と意義を学ぶ。
02	乳児保育の基本①
	子どもの主体性の尊重と自己の育ちを保育者の役割とともに考える。
03	乳児保育の基本②
	子どもの生活体験と学びの芽生えを保育者の役割とともに考える。
04	乳児の発達と理解と保育者の関わり①(言葉かけと子どもの育ちを考える)
	子どもの育ちを言葉の発達と保育者の言葉かけの関わりから考える。
05	乳児の発達と理解と保育者の関わり②(わらべ歌やマザーグースと子どもの育ちを考える)
	子どもの育ちを日本や海外で伝承されてきた歌や物語との関係から考える。
06	3歳未満児の一日の流れ
	保育者の視点から子どもの一日の生活の流れを具体的かつ詳細に知り、配慮すべき点を考える。
07	乳児保育の計画と評価①(長期的指導計画と短期的指導計画)
	全体的な計画を実現に向けて具体化していく計画を学ぶ。
08	乳児保育の計画と評価②(個別の指導計画と集団の指導計画)
	子ども一人一人の発育・発達の過程や特性に合わせた計画の違いを理解する。
09	乳児の発達と望ましい環境①(0歳児の保育と生活)
	0歳児の生活や遊びを支える環境の構成を学ぶ。
10	乳児の発達と望ましい環境②(1歳児、2歳児の保育と生活)
	1、2歳児の生活や遊びを支える環境の構成を学ぶ。
11	乳児保育の安全管理
	保育現場の衛生管理や安全について保育者として必要な知識を学ぶ。
12	乳児の発達(保育用品を使えるようになろう)
	保育用品を実際に触って、子どもへの配慮や特徴を観察し使い方を理解する。
13	乳児の観察と意義
	子どもを観察する方法と保育者として何を読み取り、どのように育ちの援助に生かすかを学ぶ。
14	乳児保育の子育て支援
	乳児保育が担う支援について考える。
15	まとめ、子どもの心に寄り添う乳児保育の実現に向けて
	講義内容の総括。子どもの心に寄り添う保育者について考える。